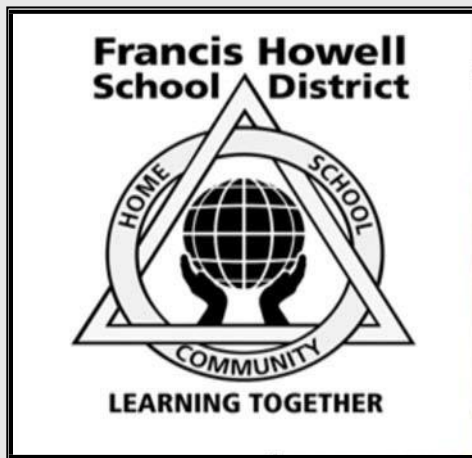


# フランシス・ハウエル学区 行動規範



# 目次

はじめに.....	3
教室規律ガイドライン .....	4
違反行為およびレベルの説明 .....	5
違反行為.....	6-10
レベルの定義 .....	11
生徒のアルコール/薬物依存に関する規範.....	12-13
校内への銃持ち込み禁止に関する規範 .....	14
処罰の定義.....	15-17
バス規律ガイドライン .....	18
体罰：禁止.....	19
ネットワークおよびインターネットアクセスの使用に関するガイドライン.....	20
用語集 .....	21-22

## はじめに



### 良好で秩序が保たれた学習環境は重要です。

校内が快適、友好的、秩序が保たれた場所であることが望まれます。生徒、両親/保護者、スタッフ、コミュニティなどみんなが協力することで、学校を学習するための最適な場所にできるでしょう。

学校長は、良好な学習環境を維持する責任があります。生徒は以下を念頭に置いてください：

- 安全、責任を持った冷静な行動をする
- 全ての仲間および大人に敬意を払う
- 全ての学校の施設を大事に使う
- 学校および教室では時間を守る
- 課題や消耗品などを含む教室内の準備をする
- 学習に参加する
- 人に親切にする、適切な言葉を使用する
- 身だしなみを整える
- 学校および教師たちの規則に従う
- 他者との相違点を尊重し受け入れる
- 自分がどのように感じるか、または有益かつ適切な方法で必要な事を表現する
- 容認される方法で意見の不一致を解決する

### 全校の積極的な行動のサポート (SWPBIS)

9つの FHSD 学校では、望ましい態度を教え、補習の追加が必要な生徒をサポートするアプローチとして全校の PBIS を採用しています。全ての学校は、州レベルで認識しています。

### キャラクター・エデュケーション

多くの FHSD の学校でも、キャラクター・エデュケーション・プログラムが確立されています。これは知的、社会的、論理的開発により、若者たちの特徴や特性を積極的に伸ばすことで、「学習者サポートコミュニティ」を作り上げる取り組みです。本学区では、3校が、ミズーリ州キャラクター・エデュケーション対応校として認定され、2校がナショナルスクールのキャラクター・エデュケーション対応校として認定されています。

### リーダー・イン・ミー

FHSD の数校が、生徒のリーダーシップを開発するための方法としてリーダー・イン・ミーを採用しています。7つの習慣 (*The 7 Habits of Highly Effective People*) に基づき、リーダー・イン・ミーでは、生徒に対して、21世紀の経済発展に必要な自信とスキルを備えさせます。リーダー・イン・ミー採用校では、継続的に、校風が改善され、全体的に規律上の問題の減少が報告されています。フランシス・ハウエル学区における生徒の行動規範では、不適切または破壊的とみなされる生徒の行為に関して述べられています。当該行動を防ぐために使用され、生徒が当該行為をした場合に使用される処分など、さまざまな手順が網羅されています。フランシス・ハウエル学区では、学校生活を成功させるためのガイドンス、指示、サポートなどを提供するために、介入手順も使用します。

## 教室規律ガイドライン



生徒と良好な関係を築くことは、効果的に教室を運営するために必要不可欠です。教師には、学習するための教室環境を維持する責任があります。生徒に対応し、監視するサポートコミュニティを確立する方法として、本学区では、コミュニティサークルの確立が推奨されています。生徒と教師の関係が強く、良好であると、教室は良好な学習環境が推進されます。私たちは、生徒が他者と協力していて、社会活動や仕事のための準備スキルを開発している学習コミュニティが最適な学習環境であると信じています。教室崩壊や破壊的な行為は容認されません。それには、私語が多い、席に着かない、物を投げる、他者の邪魔をする、電子機器の不適切な使用、ノートパス、および/または教育プロセスの邪魔をするようなその他の行為が含まれますが、それに限定されません。生徒の行動規範は、バーチャル学習で学んでいる生徒にも適用されます。違反行為は、生徒が直接学校に参加していた場合でも、同様の方法で適用されます。

### 処分決定のプロセス

初めの問題行為

教師が生徒と話し合う

問題行為が続く場合

教師が生徒に警告。  
教師が両親/保護者に連絡する場合もある。

警告後も問題が解決されない場合

教師が居残りを命じる。  
または、生徒や両親/保護者などとの話し合いにより問題を解決する。

居残り、または話し合い後も問題が解決されない場合 教師は生徒の処分について学校長の判断を仰ぐ。

### 遅刻ポリシー

生徒が学校のベルが鳴った後に教室に到着した場合、教師、学校長により居残りが命じられます。遅刻の回数により、校内レベルで居残りが判断されます。遅刻が複数回くり返される場合、その生徒は、校内で検討され、より重い処分を受ける場合もあります。

# 違反行為およびレベルについて



フランシス・ハウエル学区のポリシーでは、安全で学業成績の良い、個人の成功のために使用される良好な教育環境を提供するために作られています。COVID - 19 中に、生徒とスタッフの安全を維持することが、本年度の本学区の最重要課題です。生徒は、本学区で定められた安全プロトコル (ソーシャルディスタンス、マスクの着用、適切なバスで通学など) に従うことが求められます。スタッフは、ソーシャルディスタンスやマスクの着用などに関して、生徒に注意する必要があります。数回にわたり注意や警告をしても生徒が従わない場合、処罰の対象となります。これには、本学区のバーチャル学習の必要がある生徒も含まれます。

従って、以下のページの項目には、フランシス・ハウエル学区および対応する処罰レベルにより定義された違反行為について示されています。

初等および中等教育により、その違反内容のレベルは異なります。処罰の目的は、望ましい最適な行動を教えることであり、今後不適切な行動を防止するためであり、それらを生徒に注意することが重要です。

以下のページに違反行為が記載されていますので、年齢に応じた適切なマナーについて全ての生徒に再確認してもらいましょう。両親が子どもたちに違反の内容を確認させるよう促してください。

学校の旅行またはその他の学校外での活動に関しては、学校の指定された担当者に権限があります。初等教育または中等教育 (ミドルおよびハイスクール) の生徒が含まれている場合に限らず、全ての本学区のポリシーおよび規制は、これらの活動内に効力を発します。FHSD の施設外で実施される社会見学および活動中に違反が発生した場合、生徒に対しては本行動規範が適用されます

学校とつながったキャンパス外で発生した問題、または学校環境を破壊する違反が発生した場合、FHSD により学校の規範が適用されます。

生徒の行動規範では、処罰の適用が必要であるような、あらゆる違反をリスト化し、詳述することは求められていません。それにもかかわらず、本学区では、問題の本質、深刻度、頻度などに応じて、その状況に基づき、適切であると決断するための権利を明確に保持するものとします。

# BEHAVIORAL INFRACTIONS

不適切または破壊的行為	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
<b>全ての不利益な行為</b>				
校内で違反が発生した場合の秩序を正すために、このカテゴリは、違反の説明の内容に該当しないような違反に適用されます。	●	●	●	●
<b>放火</b>				
他者の施設に意図的または見境なく火を点けること。法的処罰の書類が学校管理者により発行されます。			●● 小学校	●●
<b>攻撃的な行為</b>				
学校長/被指名人により深刻であると判断された場合、レベル 3 の違反とみなされる場合があります。		●●	●●	
<b>他生徒またはスタッフへの暴行</b>				
身体的な力で意図的に身体へ危害を加えること。法的処罰の書類が学校管理者により発行されます。		●● 小学校	●●	
<b>爆発の予告/脅迫</b>				
書面または電話による爆発を予告する脅迫。テロリストの脅威として定義されています（用語集参照）。法的処罰の書類が学校管理者により発行されます。				●●
<b>いじめ</b>				
いじめは、個人またはグループによる意図的な行為で、脅し、不愉快な攻撃的な態度、嫌がらせなどがくり返されたり、実質的にくり返される可能性があり、良心的な生徒の身体的または所有物に危害を加えることです。例外なく、いずれかの生徒の教育パフォーマンス、機会もしくは利益を実質的に妨害し、または実質的に学校の秩序ある運営を中断させます。いじめには、身振り、インターネット上の書き込み、文書によるコミュニケーション、その他のいじめとして報告される脅迫などの身体的行為が含まれています。学校長/被指名人により深刻であると判断された場合、レベル 2, 3 または 4 の違反とみなされる場合があります。	●●	●●	●●	●
<b>不正行為/盗作</b>				
電子的不正行為が含まれており、テスト/課題はペナルティとして 0 点になり、両親/保護者および管理者に通告されます。複数の問題がある場合、レベル 2 違反になります。	●●			
<b>生徒または大人に対する失礼な態度</b>				
言葉、話し方、表情、書面の表現または身振りなどが含まれますが、これに限定されません。	●●			
<b>破壊的行為</b>				
授業または生徒の安全な輸送を妨害する行為。大声で話す、席に座らない、物を投げる、他者の邪魔をする、ノートを投げるおよび/またはその他の授業を妨害する行為（例、生徒の悪ふざけ）などが含まれますが、これに限定されません。生徒の悪ふざけは、本破壊行為とみなされる場合があります。学校長/被指名人により深刻であると判断された場合、レベル 2, 3 または 4 の違反とみなされる場合があります。	●●	●●	●●	●●
<b>他者を傷つける悪口または行為</b>				
人種、肌の色、性別、国籍、年齢、民族、身体障害、宗教、性的指向または認識された性的指向（Title IX または Title VI 参照）などによる他者を見下すような悪口（書面または言葉で）の使用が含まれますが、これに限定されません。これには、行為、言葉、書面または象徴的な悪口が含まれます。学校長/被指名人により深刻であると判断された場合、レベル 3 の違反とみなされる場合があります。		●●	●●	

## BEHAVIORAL INFRACTIONS

不適切または破壊的行為	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
<b>ドレスコード違反</b>				
学校のドレスコードに違反する、学校の活動および/または教育プロセスを妨害する不適切な服装または外観。垂れ下がっている、露出度の高い服、下着の露出、スパイクおよび/またはチェーンの着用、または不適切なプリントの服装/マスク（例、性的意味、薬物、酒類、ライフル銃、違法行為など）などが含まれますが、これに限定されません。学校長は、生徒に、両親に適切な服装を持ってきてもらうよう依頼することができます。ドレスコードにあった服装に変更するよう生徒に話した後も、生徒がドレスコードに違反している場合、追加処罰の対象となる場合もあります。	●●			
<b>運転/駐車違反</b>				
未承認のエリアへの駐車、許可なしの駐車、学生のドライバー向けに確立されたガイドラインに従わないこと。駐車場内において不適切なマナーで運転すること。規則に従わない場合、駐車場への駐車を禁止したり、その他の処分の対象となります。	●●			
<b>電子機器の不正使用</b>				
学校の授業の時間以外に、携帯電話やその他の未許可の電子機器の操作や表示。ヘッドホン、iPod、DVD、電子リーダーなどが含まれますが、これに限定されません。本学区では、デバイスの損傷、損失、盗難などに責任を負いません。これには、学校のスタッフ、生徒または学校の文書などの、不適切、未許可の使用、未許可の画像の取得、転送、複製などが含まれます。教室やロッカールームで写真を撮る事は許可されていません。レベル 2 または 3 の違反とみなされます。没収されたデバイスは、不適切なメッセージおよび/または画像が検索される場合もあります。不適切なコンテンツが自分の創作であるかどうかにかかわらず、生徒は携帯電話のコンテンツに責任を負わなければなりません。これらのアイテムの使用は、管理者により承認された学習目的または動機として、教師の判断により許可される場合もあります。	●●			
<b>誤った告発</b>				
生徒やスタッフに対して意図的に行われます。校内管理者により深刻であると判断された場合、レベル 3 の違反とみなされる場合があります。		●●	●●	
<b>誤報/火災報知器の誤使用</b>				
緊急設備の改ざん、誤報の設定、誤った報告など（911 などへの通報）。学校長/被指名人により深刻であると判断された場合、レベル 3 の違反とみなされる場合があります。		●●	●●	
<b>けんか</b>				
相互に接触することで他者の身体をたたく（暴力とは区別）、けんかの原因となるような言葉または行為をすること。いかなる方法であれけんかを記録すること、共有すること、またソーシャルメディアへ投稿することもこの違反行為に含まれます。学校長/被指名人により深刻であると判断された場合、レベル 3 の違反とみなされる場合があります。		●●	●●	
<b>花火</b>				
花火の所持または使用。		●● 小学校	●●	
<b>偽造</b>				
両親/保護者の署名（電話での親になりすます行為を含む）、教師または正式な署名（ホールパス、席を外す許可）などが対象。	●●			

## BEHAVIORAL INFRACTIONS

不適切または破壊的行為	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
<b>暴力団/暴力団のシンボル</b>				
学校の秩序を乱すような裏社会または「クラブ」のメンバーとなること。 文字の暴力団のシンボルまたはサインなどを連想させるおよび/または書いてある。		● ●		
<b>不適切な愛情表現</b>				
不適切な愛情表現には、継続的なキス、体の触れあいなどが含まれます。	● ●			
<b>公然わいせつ/衣服を脱ぐ</b>				
臀部および/または生殖器の露出、他者の衣服を脱がせる、身体のパライベート部分および/または下着の露出などが含まれます。「ズボンを下げる」ことは違反とみなされます。施設内のコンプライアンス担当者に報告される場合があります。学校長/被指名人により深刻であると判断された場合、レベル 3 の違反とみなされる場合があります。		● ●	● ●	
<b>校内停学 (ISS/ISAP) ガイドライン</b>				
校内停学ガイドラインに従わないこと。		● ●		
<b>処分に従わない場合 (権限の無視/指示への反抗)</b>				
スタッフの指示や要求に従わなかったり、スタッフの権限を無視すること。	● ●			
<b>ロッカールーム/トイレ設備の違反</b>				
トイレ設備 (石鹸、水、ペーパータオル、トイレットペーパー) の不正使用。自分とは異なる性のロッカールームまたはトイレ設備に入ること (他の人を自分とは異なる性のロッカールームまたはトイレ設備に無理矢理入れることも含む) は、レベル 2 の違反となります。	● ●	● ●		
<b>うそ</b>				
間違っただけまたは不正確な情報を意図的に提供すること。	● ●			
<b>建物内の不適切な移動</b>				
建物内を静かに移動しない、決められた線の中を歩かない、建物内を走る、指示されたルートを使用しない、許可なしに指定エリアから出るなど。	● ● 小学校			
<b>過失行為</b>				
他社の持ち物に損傷を加える、他者に損傷を加える、または安全性を脅かすなど (感染症の拡大を防ぐために必要なマスクを着用しない、ショックを与えるようなおもちゃの使用、研究室内の安全性の違反、その他の不適切な行為などが含まれますが、これに限定されない)。生徒による迷惑行為はこのカテゴリに含まれる場合があります。		● ●		
<b>市販薬</b>				
処方薬以外の薬物の保持または使用は、レベル 2 違反となります。学習環境に支障をきたすような行為の原因となる市販薬の配布、販売、購入 (非処方薬を含むがこれに限定されない)、または薬物の摂取状態は、レベル 3 の違反になります。		● ●	● ●	
<b>身体的接触/身体的な危害</b>				
不適切な接触または行為 (例、乱闘、けんか、大騒ぎなど)。身体的な危険とは、生徒または大人に対して身体的な危険が及ぶような、けんか、人をぶったり、押したり、たたいたり、パンチをしたり、悪ふざけなどの行為です。学校長/被指名人により深刻であると判断された場合、レベル 2 の違反とみなされる場合があります。	● ●	● ●		



## BEHAVIORAL INFRACTIONS

不適切または破壊的行為	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
<b>ポルノ</b>				
ポルノまたはわいせつ、および/または性的表現とみなされるコンテンツ（あらゆる電子機器などの画像、文字によるコミュニケーションを含む）の所持。 <b>生徒は、そのコンテンツが自作のものであるかどうかにかかわらず携帯電話内の全てのコンテンツに責任を負う必要があります。</b> コンテンツの内容次第ではレベル 3 の違反とみなされる場合があります。		●●	●●	
<b>薬物の所持、使用、摂取状態</b>				
アルコール、「ノンアルコール」麦芽酒、違法ドラッグ、機能障害の原因となる非処方合法合成物質、処方薬もしくは規制薬物、またはアルコール、「ノンアルコール」麦芽酒、違法ドラッグ、機能障害の原因となる非処方合法合成物質とみなされる物質、処方薬もしくは規制薬物とみなされる物質、または薬物関連器具（例、スケール、パイプなど）、もしくは違法もしくは規制薬物の使用のための薬物関連器具とみられる道具の所持（アルコール/薬物使用の規制参照）。 <b>法的処罰の書類が学校管理者により発行されます。</b>			●●	
<b>盗難品の所持</b>				
100 ドルより低い金額の盗難品を所持している場合、レベル 1 の違反となります。100 ドルより高い金額の場合、レベル 2 の違反となります。	●●	●●		
<b>記録/文書/学区ファイルの所持</b>				
学校、生徒の記録または文書の盗難および/または改ざん（成績表、レポートカード、コンピューターのソフトウェアやハードドライブ、学区のネットワーク、コンピューター上の記録、パスワードなどのハッキング、ダウンロードなどが含まれるが、これに限定されない）。			●●	
<b>暴力行為</b>				
暴力行為とみられる、または暴力行為の原因となるような、2 人以上の生徒によるけんか、またはあらゆる行為。			●●	
<b>規則違反</b>				
カフェテリア、校庭、ランチルーム、ホールなどの規則、ソーシャルディスタンスのルールに従わないこと、学校行事に対する違反。	●●			
<b>販売、共有または配布の禁止</b>				
アルコール、「ノンアルコール」麦芽酒、違法ドラッグ、機能障害の原因となる非処方の合法合成物質、規制物質、処方薬、または前述で記載されているような販売者により提供される物質、（生徒のアルコール/薬物使用の規制参照）。 <b>法的処罰の書類が学校管理者により発行されます。</b>		●● 小学校	●●	
<b>性的な不正行為</b>				
自分自身または他者の身体およびまたは衣服を、強制的、意図的、継続的に触る事は、性的接触とみなされます。これには電子的接触も含まれます。		●●		
<b>セクシュアル・ハラスメントおよび/またはハラスメントもしくは差別</b>				
人種、肌の色、性別、国籍、民族、障害、宗教、性的指向もしくは認識された性的指向、または国もしくは連邦法により保護されたその他の特性に基づいています。セクシュアル・ハラスメントは、不愉快な性的誘いかけ、性的接待の要求、性的本質のその他の言葉または身体的な接触として定義されています。これには、言葉によるコメント、性的な名前と呼ぶ、ジェスチャー、冗談、性的な内容の写真や手紙、性的な内容の噂を広めるなどが含まれています。セクシュアル・ハラスメントがある場合、項目 IX に基づき施設内のコンプライアンス担当者に報告されます。学校長/被指名人により深刻であると判断された場合、レベル 3 の違反とみなされる場合があります。	●● 小学校	●●	●●	

## BEHAVIORAL INFRACTIONS

不適切または破壊的行為	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
<b>テクノロジー/ネットワークの不正使用</b>				
本学区内のテクノロジーおよびネットワークの不適切な使用。本学区の「使用許可ガイドライン」に対する違反。バーチャル学習をサポートするために、本学区のテクノロジーが提供されている生徒が本学区のテクノロジーを不正使用した場合、処罰の対象となる場合があります。学校長/被指名人により深刻であると判断された場合、レベル 3 または 4 の違反とみなされる場合があります。	●	●	●	●
<b>金銭または持ち物の盗難（パブリックまたはプライベート）</b>				
100 ドルに満たない金銭または持ち物を盗むことはレベル 1 の違反になります。100 ドル以上の金銭または持ち物を盗むことはレベル 2 の違反になります。盗難は法的処罰の対象となる場合があります。	●●	●●		
<b>10人以上の人による脅迫</b>				
テロリストの脅迫として定義されます（用語集を参照）。法的処罰の書類が学校管理者により発行されます。			●● 小学校	●●
<b>脅迫/他者の生活を脅かす</b>				
言葉もしくは身体的に大人または生徒を脅迫すること。処罰のレベルは内容に基づき判断されます。感情的なコメントは、計画された書面による脅迫と同様の方法では対処されません。学校長/被指名人により深刻であると判断された場合、レベル 4 の違反とみなされる場合があります。法的処罰の書類が学校管理者により発行される場合があります。		●● 小学校	●●	●●
<b>タバコ製品/喫煙/水蒸気タバコ</b>				
学校の施設内における、授業前、授業中、授業後に、水蒸気タバコ、電子タバコ、オイル、キセル、マッチ、ペーパー、ライターなどのタバコ製品を所持、喫煙、使用すること。水蒸気タバコ、電子タバコなどのタバコ製品は即座に廃棄されることとなります。未成年の当該デバイスの所持は法的処分の対象となります。		●●		
<b>学校およびまたは本学区内の施設への不法侵入</b>				
停学中または授業や学校活動が行われていない時に学校のグラウンドに入ること。			●●	
<b>無断欠席</b>				
授業、昼休み、必須の学校行事、学校の活動に無断で欠席すること。無断で、または両親からの欠席の連絡なしで、もしくは両親からの電話による欠席の連絡なしで、学校のグラウンドからいなくなることも含まれます。	●●			
<b>公共物に対する破損</b>				
清掃や復元などの管理に余分な時間が必要となる場合。スタッフ、生徒、本学区に所属する施設に対する意図的な損害または損害の試み（原状回復が必要）が含まれます。生徒のいたずらは違反行為とみなされる場合があります。建物の管理者により深刻であると判断された場合、レベル 3 の違反とみなされる場合があります。	●●	●●		
<b>違反行為</b>				
生徒またはスタッフメンバーに対し、 <b>殺害行為、または深刻な身体的怪我を負わせる事</b> 。深刻な身体的怪我を負わせることを目的とした生徒による身体的な力を加える行為。法的処罰の書類が学校管理者により発行されます。			●● 小学校	●●
<b>武器/銃の所持</b>				
武器の所持または使用（用語集の武器の定義参照）法的処罰の書類が学校管理者により発行されます。 12				●●

## DEFINITION OF LEVELS

授業のサポートおよび管理行為の例																			
レベル 1	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">学生と教師による話し合い、適切な行為および/または教室の規則を再度教えること。</td> <td style="width: 50%;">休憩時間の利用 - 一部/全部（違反行為に対処するための他の選択肢がない場合にのみ使用。）</td> </tr> <tr> <td>積極的な練習やトレーニングの機会</td> <td>昼休みの活用（決して昼食を抜いてはいけない）</td> </tr> <tr> <td>生徒の行為に関連して両親/保護者に対して口頭または書面による通達</td> <td>学校長と教師/両親/保護者との話し合い</td> </tr> <tr> <td>進捗度に関して両親/保護者に対して、毎月/週に1度レポートを送信</td> <td>毎日の計画、復元的規律事例など代替的な介入を実施</td> </tr> <tr> <td>必要に応じてカリキュラムの調整</td> <td>特別な権利の拒否</td> </tr> <tr> <td>放課後に生徒の居残り</td> <td>昼休み時間の居残り</td> </tr> <tr> <td>第1違反- 最長で3日間の居残りまたは停学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2違反- 最長で5日間の居残りまたは停学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3違反- 最長で10日間の居残りまたは停学</td> <td></td> </tr> </table>	学生と教師による話し合い、適切な行為および/または教室の規則を再度教えること。	休憩時間の利用 - 一部/全部（違反行為に対処するための他の選択肢がない場合にのみ使用。）	積極的な練習やトレーニングの機会	昼休みの活用（決して昼食を抜いてはいけない）	生徒の行為に関連して両親/保護者に対して口頭または書面による通達	学校長と教師/両親/保護者との話し合い	進捗度に関して両親/保護者に対して、毎月/週に1度レポートを送信	毎日の計画、復元的規律事例など代替的な介入を実施	必要に応じてカリキュラムの調整	特別な権利の拒否	放課後に生徒の居残り	昼休み時間の居残り	第1違反- 最長で3日間の居残りまたは停学		第2違反- 最長で5日間の居残りまたは停学		第3違反- 最長で10日間の居残りまたは停学	
学生と教師による話し合い、適切な行為および/または教室の規則を再度教えること。	休憩時間の利用 - 一部/全部（違反行為に対処するための他の選択肢がない場合にのみ使用。）																		
積極的な練習やトレーニングの機会	昼休みの活用（決して昼食を抜いてはいけない）																		
生徒の行為に関連して両親/保護者に対して口頭または書面による通達	学校長と教師/両親/保護者との話し合い																		
進捗度に関して両親/保護者に対して、毎月/週に1度レポートを送信	毎日の計画、復元的規律事例など代替的な介入を実施																		
必要に応じてカリキュラムの調整	特別な権利の拒否																		
放課後に生徒の居残り	昼休み時間の居残り																		
第1違反- 最長で3日間の居残りまたは停学																			
第2違反- 最長で5日間の居残りまたは停学																			
第3違反- 最長で10日間の居残りまたは停学																			
インテンスイブサポートおよび管理行為の例																			
レベル 2	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">両親/保護者に連絡し、生徒を含めて話し合う</td> <td style="width: 50%;">居残り、休み時間/昼休みなし</td> </tr> <tr> <td>両親/保護者/教師/生徒/管理者による話し合い</td> <td>補講および/または遅れを取り戻すための話し合い/機会</td> </tr> <tr> <td>放課後の居残り</td> <td>追加で180日間の校外停学処分の可能性について行動規範の委員会による聴聞で判断。</td> </tr> <tr> <td>最長で10日間の校内または校外停学処分</td> <td>退学処分</td> </tr> <tr> <td>第1違反- 最長で10日間の停学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2違反- 最長で180日間の居残りまたは停学</td> <td></td> </tr> </table>	両親/保護者に連絡し、生徒を含めて話し合う	居残り、休み時間/昼休みなし	両親/保護者/教師/生徒/管理者による話し合い	補講および/または遅れを取り戻すための話し合い/機会	放課後の居残り	追加で180日間の校外停学処分の可能性について行動規範の委員会による聴聞で判断。	最長で10日間の校内または校外停学処分	退学処分	第1違反- 最長で10日間の停学		第2違反- 最長で180日間の居残りまたは停学							
両親/保護者に連絡し、生徒を含めて話し合う	居残り、休み時間/昼休みなし																		
両親/保護者/教師/生徒/管理者による話し合い	補講および/または遅れを取り戻すための話し合い/機会																		
放課後の居残り	追加で180日間の校外停学処分の可能性について行動規範の委員会による聴聞で判断。																		
最長で10日間の校内または校外停学処分	退学処分																		
第1違反- 最長で10日間の停学																			
第2違反- 最長で180日間の居残りまたは停学																			
停学および処罰の対象																			
レベル 3	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">校内停学</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>最長で180日間の校外停学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>セパレートスクール内の代替介入プログラムの適用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>追加で180日間の校外停学処分の可能性について行動規範の委員会による聴聞で判断。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>退学処分</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">レベル3違反が続いて行われた場合、停学処分となる可能性があります。</td> </tr> </table>	校内停学		最長で180日間の校外停学		セパレートスクール内の代替介入プログラムの適用		追加で180日間の校外停学処分の可能性について行動規範の委員会による聴聞で判断。		退学処分		レベル3違反が続いて行われた場合、停学処分となる可能性があります。							
校内停学																			
最長で180日間の校外停学																			
セパレートスクール内の代替介入プログラムの適用																			
追加で180日間の校外停学処分の可能性について行動規範の委員会による聴聞で判断。																			
退学処分																			
レベル3違反が続いて行われた場合、停学処分となる可能性があります。																			
停学および処分の延長																			
レベル 4	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">校内停学</td> <td style="width: 50%;">追加で最長180日間の校外停学処分の可能性について行動規範の委員会による聴聞で判断。</td> </tr> <tr> <td>校外停学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>退学処分</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">武器による違反。少なくとも1年（365暦日）の停学または退学処分。Mo. Rev.§ 160.261に基づき判断されます。</td> </tr> </table>	校内停学	追加で最長180日間の校外停学処分の可能性について行動規範の委員会による聴聞で判断。	校外停学		退学処分		武器による違反。少なくとも1年（365暦日）の停学または退学処分。Mo. Rev.§ 160.261に基づき判断されます。											
校内停学	追加で最長180日間の校外停学処分の可能性について行動規範の委員会による聴聞で判断。																		
校外停学																			
退学処分																			
武器による違反。少なくとも1年（365暦日）の停学または退学処分。Mo. Rev.§ 160.261に基づき判断されます。																			

## 生徒のアルコールおよび薬物違反に関する規範



教育委員会は、本学区に参加する生徒の健康、幸福安全性に責任を負う事を認識しています。従って、学校の施設内、学校が主催する活動またはイベント、校外学習、本学区に生徒を輸送するために使用される車内において、アルコールまたは薬物の使用、転送、所持、それらの摂取状態であることは、禁止されています。

生徒の行動規範内で使用されている**アルコール**とは、アルコール、「ノンアルコール」麦芽酒、またはアルコールもしくは「ノンアルコール」麦芽酒と表示されている物質として定義されます。

生徒の行動規範内で使用されている**薬物**とは、麻薬、違法ドラッグ、処方薬、非処方合法合成物質、または機能障害および/または身体もしくは精神に作用する市販薬もしくは規制物質、または麻薬、違法薬物、処方薬、非処方合法合成物質、もしくは機能障害および/または身体もしくは精神に作用する市販薬とみなされる物質、または海外で使用する目的で作成された市販薬、または薬物関連器具として定義されています。

本学区内で資格を有する人物の教育を制限することは、教育委員会または学校教師たちの意図するものではありません。適切な学習環境で行われるために、適切な学校の規律および学校の公民権が必要であることが認識されています。薬物やアルコールを摂取している、またはこれらの物質を所持している生徒による不必要な破壊や混乱が見られる場合、教育的および活動の機会を望む生徒にとって公平ではありません。

**アルコールもしくは薬物の摂取状態または所持**が確認された生徒は、最長で **180** 日間の停学または退学処分となります。学校長/被指名人は、**10** 日間の初期期間に当該生徒に停学を命じなければなりません。アルコール所持または薬物所持違反が初めてである場合、**10** 日間の停学の代わりに、生徒は、セパレートスクールで、代替介入プログラムに参加することを選択できます。生徒は、プリファード・ファミリー・ヘルスを通して、総合的な薬物評価に参加する必要があります。生徒は、学校の授業に全て参加し、各コースからの全課題を完了し、**10** 日間の間に薬物/アルコールのカウンセリングを受けます。適切な意思決定および回復が見られ、ホームスクールに戻るまで、生徒は継続的なサポートを受けます。生徒あるいは親/保護者が、必要な書類の記入、評価または継続的なサポートのための会合への出席を十分に完了していない場合、初期 **10** 日間の停学処分となり、行動規範委員会の聴聞により、適切な処分および/または追加の停学処分が判断されます。処分の提言は、当該決定の最高責任者/被指名人に提出されます。

生徒の行動規範に基づき、**2** 回目の違反が発生した場合、生徒は最長で **180** 日間の停学または退学処分となる場合があります。

違反の深刻度に基づき、**アルコールもしくは薬物の販売、共有または配布を行った**とみられる生徒は、最長で **180** 日間の停学または退学処分を受けることになります。学校長/被指名人は、**10** 日間の初期期間に当該生徒に停学を命じることができます。適切な処分を判断するために、停学期間初期の **10** 日以内に行動規範委員会が行われます。処分の提言は、当該決定の最高責任者/被指名人に提出されます。行動規範委員会の聴聞責任者は、その裁量により、代替教育措置である、代替学習センターを推薦することができます。当該対応を承認した場合、以下が行われます：**(1)** 代替学習センターを開始してから **2** 週間以内に、プリファード・ファミリー・ヘルスにおいて薬物評価を完了しなければなりません。**(2)** 生徒は、プリファード・ファミリー・ヘルスにより提供された、薬物カウンセリングセッションに参加する必要があります。

# 生徒のアルコールおよび薬物違反に関する規範

以下の定義が適用されます：

「販売、共有、配布」とは、アルコールまたは薬物の実際の転売、積極的な転売、転売の試み、または一方の人から別の人の転売の提供を意味します。この用語には、販売、物々交換、交換、社会的共有、贈り物が含まれています。

「所持」とは、アルコールもしくは薬物を所持する行為またはその状態、または所属する施設内もしくは施設の中において、学生に所持もしくは管理を指示または委託することを意味します。

「アルコール・薬物摂取の状態」とは、薬物を体内に摂取、消費、吸入（口から、注射による、鼻からの吸入など）することを意味します。「アルコールおよび薬物摂取の状態」には以下が含まれますが、これに限定されるものではありません。生徒が学校にいた、または活動中に、当該使用が観察または検査により検知された場合、学区内の施設内にいたかどうかに関わらず、学区内の施設もしくは学校主催の活動もしくは社会見学において確認される以前にアルコールまたは薬物を使用した場合。管理者が、アルコール/薬物摂取状態であると疑う場合、飲酒テストを実施したり、専門医に相談したり、薬物テストを実施できます。検査はアルコールには飲酒検知器、薬物には唾液検査が妥当であると考えられます。「アルコール・薬物摂取状態」の定義は、いかなる状況であっても、車両運転適用の条項に限定されるものではありません。

「薬物関連道具」とは、規制物質または偽造品の規制物質を計画、普及、栽培、成長、収穫、製造、配合、変換、作成、処理、準備、保管、含有、隠蔽、注射、吸入するための使用、使用することを意図する、もしくは使用向けに設計された、または人体に入れるあらゆる種類の全ての機器、製品、物質および材料を意味します。



# 校内への銃持ち込み禁止に関する規範

フランス・ハウエル学区では、生徒および職場の従業員に対して安全で暴力のない教育環境を提供することが求められています。本学区では学校の校庭に銃がないことを確認しています。

本学区では学校内に銃を持ち込む生徒の対応について、連邦および国の法律の対応に従わなければならないことを認識しています。この内容は、1994年アメリカ学校改善法の条項、障害者教育法およびその他の連邦法および州法に従っています。

本学区では、銃を学校内に持ち込む人物が銃を提示したり、学校内の施設において他者に提示すると言いう危険性を認識しています。本学区では、銃の保持は、生徒、従業員その他の人物の健康、安全性、セキュリティに対する潜在的な脅威として認識しています。本学区では、学校の施設内に銃を持ち込んだ人物がいる場合、その危険性を容認していません。

従って、本学区は以下の通り定めています。

## I. 定義

「銃」とは、合衆国法典、最新版 18、セクション 921 で定められている連邦法に従って定義されています。「銃」には、以下が含まれていますが、これに限定されるものではありません。

- A. 弾丸入り、弾丸なしの武器、武器のフレームまたは武器のバレル、および発火により発射物が発射するよう設計された、もしくは発射するよう改造されているあらゆるアイテム。
- B. 発火またはその他の火薬により発射物が発射する、または発射するよう改造されている、最低直径 1.5 インチの内径のあるバレルがある、あらゆるアイテム。
- C. 爆発、発火または毒ガス。例として、4 オンスより重い火薬がある爆弾、手投げ弾、ロケット。その他の連邦法で認識されている同様のデバイス。
- D. 項目 B または C の定義セクション内に記載されているとおり、デバイスを改造するよう設計された、または使用することを意図された部品の組み合わせ。

## II. 生徒が銃を校内に持ち込んだ場合

本学区では、校内に銃を持ち込む生徒を容認しません。従って、本学区では、銃を校内に持ち込んだ生徒に対して以下の処分を取っています。

- A. 本学区では、生徒に対して、適切な刑事法または少年法を適用します。
- B. 本学区では、違反の日から少なくとも 1 年間（365 日）の期間で生徒を停学処分にし、その裁量で、永久的に退学処分にする場合もあります。最高責任者が、状況により当該変更が妥当であると判断した場合、この停学処分条項は、学校の最高責任者の判断により変更される場合があります。
- C. 本学区では、その裁量により、代替対応として教育サービスの地域ポリシー 2620 に基づき、生徒を停学処分することができます。

## III. 障害者の生徒の対応

校内の銃規制ガイドラインに違反した生徒が、個別障害者教育法に基づく障害者である場合、本学区では、適用法および規制で定められている連邦法および州法の要件に従うものとします。当該法律および規制により、障害者の生徒が校内に銃を持ち込んだ場合に適用される特別な手順が定められています。これらのガイドラインは、個別障害者教育法に基づきこれらの適用が許可されている範囲において、障害者の生徒に適用されます。

## IV. その他の地域のポリシーの適用

現在存在する、または今後改定されるとおり、その他の全ての地域の武器ポリシー、規律ポリシーまたは類似の武器ポリシーは、効力が維持されます。

# 処罰の定義

**自習室の定義** - 学校の授業以外に使用する管理された自習室の環境サタデースクールとは、土曜日の午前中に学校の授業以外に使用する管理された自習室の環境です。時間は学校により異なります。生徒の活動は監視され制限されています。生徒は居残りの時間中に静かにし、課題を真剣に取り組むことが求められます。遅刻した場合、指定された居残りとして認められません。

**校内停学 (ISS/ISAP)**- 生徒が履修単位の課題を完了するための機会を与えられている場所で、構成化された独立した環境です。生徒が ISS/ISAP となる前に、両親/保護者に連絡が行きます。IEP の生徒が ISS/ISAP になる場合、IEP で説明されたとおり、または校外停学処分である ISS/ISAP の時間として提供されます。生徒は校内停学処分の完了に基づき、活動に参加できます。

**校外停学 (OSS)** - 学校に参加することができない。生徒が学校に復学する前に、生徒、両親、保護者による話し合いが必要です。OSS 処分となった生徒は、下記で示された状況を除き、100%履修するために、欠席授業の補講を受ける機会があります。

停学期間の生徒の学年は、停学期間中の授業外に完了するために、生徒に提供された課題に基づいています。生徒には代替対応が提供されますが、この対応を拒否した場合、両親/保護者は、停学の期間中に生徒の教育に責任を負います。

以下の場合、処分解除の適用となりません：

- OSS 復学課題が期日までに提出されない
- ISS/ISAP 課題が、生徒が授業に戻る日までに完了されていない
- 生徒/両親/保護者が、API（代替介入プログラム）を選択しない
- 停学が 55 日より多い場合

校外停学処分となった生徒は、停学の期間中に、校内またはその他の学区の施設に入ることはできません。さらに、停学処分の生徒は、停学期間中にキャンパス内外のカリキュラム外の活動にも参加できません。校外停学期間の終了後に、活動に参加または完了する前に、信用できる生徒として生徒を再評価しなければなりません。ただし、生徒は、行動規範委員会の聴聞に参加し、指定代替プログラムに参加する際には、本学区に入ることが許可されています。

校外停学処分を下した学校に生徒が戻る場合、学校長/被指名人が参加する復学の話し合いに参加しなければなりません。これには、生徒の両親/保護者も参加します。

## 10 日から 180 日までの校外停学

- 管理者/被指名人は、最長 180 日間生徒を停学処分にしたり、停学延長や退学処分などを教育委員会に提言することができます。教育委員会のみが、180 日間の停学延長の処分を下すことができます。行動規範委員会の聴聞は、初期の停学処分の結果となる行為を評価するため、および 10 日を超える校外停学および/または退学を提言するために招集されます。

# 処罰の定義

**行動規範委員会の聴聞** - 行動規範委員会の聴聞は、10日を超える校外停学処分の前に行われます。行動規範委員会の聴聞は、必要に応じて、聴聞責任者、学校長/被指名人、その他の校内もしくは学区担当者で構成されます。行動規範委員会の聴聞時に、生徒および両親/保護者が参加する機会が与えられます。聴聞は、生徒の初期10日間の停学中に行われます。弁護士は、行動規範委員会の聴聞に参加することはできません（弁護士である両親/保護者、および弁護士の子供が参加している場合を除く）。両親/保護者が障害により使用する必要がある場合を除き、行動規範委員会の聴聞時に、記録機器の使用は許可されません。調整として記録機器を使用する必要がある場合、聴聞の前少なくとも48時間前までに、生徒サービス部まで通知を提出してください。

当該聴聞内で正確な情報でないとなされた場合、管理者の被指名人により10日を超える停学処分の生徒は、校外停学処分の通知を受け取ってから10日以内に、学校の責任者に対して、行動規範委員会の決定に対して異議を申し立てることができます。当該申立は、異議申立期限の午後4:30前までに、最高責任者の事務所までお持ちください。弁護士は、学校の最高責任者との異議申立の話し合いに立ち会うことはできません。

生徒の両親/保護者が学校の最高責任者の決定に同意しない場合、教育委員会の前に申立の聴聞が行われます。当該聴聞を要求する生徒には、生徒名、聴聞の時間、日時、場所、代理人に依頼する生徒の権利、反対尋問の証人の招集、生徒の答弁内でその他の証拠の提示などが記載されている書面で通知されます。

**特別教育（障害者の生徒）の規律条項** - 現在生徒が受けている特別教育は、国および連邦の権限に基づき定められています。障害者の生徒が行動規範委員会の聴聞を受ける場合、その聴聞の結果には、10日を超える停学が含まれています。処分決定会議は、行動規範委員会の聴聞に従い生徒の障害に関連する違反であるかどうか判断されます。

## 高校生のA+市民権ポリシー

フランス・ハウエル学区のA+アドバイザー委員会では、生徒がA+ステータスで卒業した場合、優良市民権が最高の地位だと信じています。A+プログラムに参加している生徒が停学処分を受けた場合、資格がなくなる場合があります。4年間の全期間、優良市民権として記録されます。以下の場合、A+プログラム参加から除名されます。

- 高校生（グレード9～12）の期間に、校内で5回以上の問題を起こすおよび/または校外停学処分となった場合。
- 10日以上校外停学処分を受けた場合。

## A+ 申立プロセス

生徒および両親/保護者は、プログラムへの参加または権利違反の通知を受け取った後、A+の異議申立を申請する権利を保有しています。懸念または不適格者の場合、

- 生徒および両親/保護者は、懸念または不適格者について話し合うことを目的とした書面をA+コーディネーターに提出しなければなりません。
- A+コーディネーターは、適格者の検討のために、A+審議委員会を招集します。
- A+審議委員会は、生徒および両親/保護者から話しを聞き、決定事項を伝えます。

審議を申請する場合、生徒の高校のA+コーディネーターから「A+審議」フォームを受け取り、記入しなければなりません。委員会で審議により決定した後に、A+コーディネーターが両親/保護者に通知します。



# 処罰の定義

**退学** - 退学という用語は、学校から永久的に退学させることを意味します。長期間の停学に加えて、学校の最高責任者は、生徒が学校から退学となるように教育委員会に提言することができます。教育委員会は、その提言を検討し、退学に関する聴聞を進めるかどうかを決定します。教育委員会が退学の聴聞を進める場合、生徒および両親/保護者には、生徒名、聴聞の時間、日時、場所、代理人に依頼する生徒の権利、反対尋問の証人の招集、生徒の答弁内でその他の証拠の提示などが記載されている書面で通知されます。いずれの生徒も、教育委員会の聴聞なしに退学処分となることはありません。

本学区のポリシー2660により、本学区で復学可能とみなされる話し合いが行われるまで、生徒は、本学区もしくはその他の学区からの停学もしくは退学処分に従った（法律で必要である場合を除き）復学または入学は許可されません。話し合い中に、参加者は同様の行為が今後も発生することを防ぐ必要があると考えられる規律および是正措置の結果となる行為を検討します。

ただし、生徒が確定裁判なしに大人もしくは未成年者として有罪判決を受けた、または告訴された場合、または未成年者として有罪判決を受けた場合、生徒は復学または入学となりません。大人として告訴された場合、以下の違反の1つがある場合も適用されます。

- 第一級殺人 (Mo.Rev. Stat.§ 536.020)
- 第二級殺人 (Mo.Rev. Stat.§ 565.021)
- 第一級暴行 (Mo.Rev. Stat.§ 565.050)
- 強姦 (Mo.Rev. Stat.§ 566.030)
- 強制ソドミー (Mo.Rev. Stat.§ 566.060)
- 第一級盗難 (Mo.Rev. Stat.§ 570.023)
- 未成年者への薬物配布 (Mo.Rev. Stat.§ 579.020)
- 第一級放火 (Mo.Rev. Stat.§ 569.040)
- クラス A 重罪の誘拐 (Mo.Rev. Stat.§ 565.110)
- 法定強姦 (Mo.Rev. Stat.§ 566.032)
- 法定ソドミー（男性） (Mo.Rev. Stat.§ 566.062)

# バスガイドライン



フランス・ハウエルのバスドライバーは、本学区のバス内において安全かつ規律正しい環境を維持する責任があります。

以下が学区内のバスに乗る場合に生徒に求められる内容のリストです：

- 全ての行動規範に従うこと
- バスドライバーの全ての指示に従うこと
- バスの進行方向前を向いて座る事
- ソーシャルディスタンスを維持すること
- 指定された停留所で指定されたバスに乗り降りすること
- バスの中にある全ての部品や物を維持すること
- 他者に敬意を払うこと（言葉および身体的両方で）
- バスを丁寧に扱うこと（壊したり散らかしたりものを投げたり飲食をしないこと）
- 指定されたバスに乗ること

注記：全てのバスは常時カメラで監視されています

**秩序を維持し安全な環境を提供するためにバスドライバーは以下を行います：**

- 生徒との話し合い
- 学校長/生徒との話し合い
- 規則に従うように指示する
- バスの席を決める
- バスチケットの発行を求める
- バスチケットを発行する

本学区では、バスは教室の延長であるとみなしています。従って、バス乗車中の不正行為は処分の対象となります。処分には、バスの乗車拒否が含まれる場合もあります。違反が深刻であるおよび/または生徒の全般的な安全性が脅かされる場合、その問題は学校長/被指名人へ即座に報告されます。必要に応じて、学校長/被指名人が、代替的な規律内容を実施/開発する判断をします。本学区のバス通学責任者およびバス通学安全マネージャーが、必要に応じて、または必要であるとみなされた場合、学校長/被指名人との話し合いを実施します。

## 体罰：禁止

本学区ポリシー 2670 参照: 本学区のいずれの雇用者またはボランティア活動者においても、本学区に参加している生徒に対して体罰となるような管理またはその原因となる行為をしてはなりません。

本学区の雇用者は、自己防衛、秩序の維持のために重要である、または他者の保護もしくは本学区の保護のために重要である場合、学校長/被指名人へ事前の通知なく生徒に対して妥当な制限を与えることができます。



# ネットワークおよびインターネットアクセスの使用に関するガイドライン

フランシス・ハウエル学区では、生徒、教師、スタッフ、両親/保護者、管理者に対してインターネットアクセスが提供されています。本学区ポリシー6320に従い、生徒はFHSDテレコミュニケーションズを使用しなければなりません。生徒はカリキュラムに関連する情報リサーチトピック学習中に革命を進めるためのアイデアなどにアクセスすることができます。

パブリックおよびプライベートネットワークにある有意義な情報を通して、電子的な通信およびリサーチを学ぶことは、21世紀に生活する生徒をサポートする情報リテラシースキルとなっています。ある例として、教室内の教師により承認されている場合、生徒は学習を目的としたテクノロジー機器を持ち込むことが許可されています(例、ノートパソコン、iPod、iPad、電子リーダーなど)

## 安全性

本学区では、ファイアーウォールやフィルタリングなどで、CIPA(子供をインターネットから保護する法律)コンプライアンスが徹底されています。ただし、不快に感じるような情報にアクセスできる場合、生徒は教師またはその他のスタッフメンバーに報告することができます。

本学区のネットワークでは以下の行為が許可されています。

- 学習目的でのみ通信を使用すること。
- 他の人を尊重し、礼儀正しい方法で通信すること。
- 著作権法および知的所有権に従うこと。
- 個人の名前、電話番号、住所、パスワードなどを保護し、他社のプライバシーに関しても同様に扱うこと。

個人の責任を確認するためにガイドラインが提供されています。ガイドラインに従わない場合、ネットワーク管理者または指定されたFHSD担当者は、ネットワークまたはコンピューターの権利を無効にすることができます。

本学区のネットワークでは以下の行為が許可されていません。

- 気密情報を共有すること。
- 他の人にパスワードを教えること。
- 個人情報を提供し、何らかの方法で他者に対してインターネットによる嫌がらせ、侮辱、危害を加えること。
- セキュリティシステムをすり抜ける、または破壊しようとする。
- ボルノ/違法なコンテンツにアクセスすること。
- 他人のフォルダー、ファイルまたは文書などへの不法侵入。
- 違法なコピーソフトウェア。
- 他人のデータやファイルを破壊または危害を加えようとする。
- 他人のデータやファイルを破壊または危害を加えようとする。
- 商業目的でネットワークを利用すること。
- 学校のカリキュラム以外のインターネットゲームを使用すること。
- 著作権法の違反または盗作。
- 未認可のウェブサイトの活用。
- 本学区のネットワークまたはテクノロジーを破壊すること。
- ウイルス改変データをアップロードすること、または制限された情報を盗むこと。

## 違反による懲戒処分の可能性

ネットワークおよびインターネット使用に関するポリシーに違反した場合、処罰の対象となります。これには以下が1つまたは複数含まれる場合がありますが、これに限定されるものではありません。1) ネットワーク権利の停止または取消、2) インターネットアクセスの停止または取消、3) コンピューターアクセスの停止または取消、4) 停学 または 5) 退学

**注意:** 生徒の個別のインターネット使用を拒否したい場合、通学している学校まで問い合わせ、適切なフォームに記入してください。

# 用語集

## いじめ

いじめは、脅し、不愉快で攻撃的な態度をとる、嫌がらせなどがくり返されたり、実質的にくり返される可能性があり、良心的な生徒の身体的または所有物に危害を加えることで、例外なく、いずれかの生徒の教育パフォーマンス、機会もしくは利益を実質的に妨害する、または実質的に学校の秩序ある運営を中断させるという、個人またはグループによる意図的な行為として、教育委員会ポリシー2655により定義されています。いじめには、身振り、インターネット上の書き込み、文書によるコミュニケーション、その他のいじめと報告される脅迫などの身体的行為が含まれています。

本学区は、学校の校庭、授業時間、学校が主催する活動中または学校に関連する状況下で、いかなる形の生徒によるいじめ、または脅迫もない、学習環境および職場環境の維持に取り組んでいます。生徒および/または生徒の両親/保護者は、学校施設内の管理者に対していじめの内容を報告することが推奨されます。

本学区では、いじめを報告するよう生徒に伝えています。いじめの被害者またはそれを見た場合、生徒はそれを報告しなければなりません。学校は生徒のいじめを報告し安全な方法を話し合います。いじめられた、またはいじめを見た生徒は、大人にその内容をすぐに報告しなければなりません。両親/保護者は、子供が報告をしがない場合、子供により報告されたいじめを報告するために、学校長に連絡しなければなりません。いじめの報告はそれぞれ調査されます。FHSD ウェブサイトには、本学区ウェブサイト、保護者タブ下に保護者および生徒向けのいじめのリソースがあります。

<http://fhds.sharpschool.net/parents/bullying/>

## 話し合い

直接またはビデオもしくは電話により行われるコミュニケーション。

## サイバーネットいじめ

コミュニケーションのやりとりを通して、上記で定められている、ポリシー 2655 いじめポリシーとして定義されているサイバーネットいじめには、以下が含まれていますが、これに限定されません。電話、携帯電話、またはその他のワイヤレスコミュニケーションデバイス、ページャーなどの電子機器の手段による、メッセージ、テキスト、音、画像など。学校のテクノロジーリソースを使用して電子的通信が行われた場合、教育的環境と十分な関連性がある場合、または生徒個人の電子リソースを使用して、本学区のキャンパスまたは本学区の活動において電子的通信が行われた場合、本学区では、本学区のキャンパスまたは本学区の活動に起因するサイバーネットいじめを禁止および規制することができます。

さらに、本学区の生徒の教育に対して、実質的およびマイナスの影響を与えるような、キャンパス外での重大な不正行為をした生徒は、処罰の対象となります。

## ハラスメント/差別

個人の人種、肌の色、性別、国籍、民族、障害、宗教、性的指向または認識された性的指向などの理由で、差別をしない学習環境を維持することが本学区のポリシーです。本学区では、人種、肌の色、性別、国籍、民族、障害、宗教、性的指向または認識された性的指向などの理由による、いかなるハラスメントおよび差別も禁止しています。

校内のシステムにより、人種、肌の色、性別、国籍、民族、障害、宗教、性的指向または認識された性的指向などの理由による、公式もしくは非公式においても、口語もしくは書面においても、ハラスメントまたは差別的全ての発言を早急に調査しています。さらにハラスメントまたは差別から個人を守るための適切な措置を早急にとり、ハラスメントまたは差別が発生していると判断された場合、ハラスメント/差別があると確認された生徒、教師、管理者、またはその他の学校関係者に対して早急かつ適切な処分を下し、および/またはハラスメントを終わりにするために適度に計画されたその他の適切な対策を講じます。

# 用語集

## しごき

生徒のしごきは、学区ポリシー2920により禁止されています。しごきとは、校内または校外で、学校関連の活動またはスポーツチームに対する手ほどきまたは入会の目的において発生した場合でも、別の生徒の指示による故意の行為として定義されています。本ポリシーによる禁止行為には、性器、臀部、胸部(女子)の露出または接触、直接的または間接的においても、下着への接触、身体的危害の脅威、身体的または精神的危害または侮辱の行為が含まれますが、これに限定されません。

本ポリシーに違反した生徒は、停学/退学の処分となり、不正行為の深刻度により、活動/スポーツへの参加を停止および禁止となります。

## 駐車許可

高校の各キャンパスの生徒用の駐車スペースは限られているために、生徒が学校に車で来る場合に駐車許可が必要になります。生徒の車に関する許可およびその他の規則の資格の判断基準は、適切な高校の管理者により定められます。違反すると、駐車の特権を失う場合もあります。

## 補償

盗まれた、もしくは損傷したアイテムの交換、または補償金またはサービスの方法により公平な市場価値を提供すること。

## 窃盗/盗難

所有者からその使用を奪う目的で、所有者の許可または認識なく、他者もしくは施設内の所有物を持ち去ろうとすること(盗難違反に基づく)。

## セクスティング

性的表現の写真またはメッセージを電子機器から送信すること。

## テロリストの脅威

他者を脅す、または公的にパニックを起こすことを目的として、暴力行為により他者に脅威を与えること。

## 不法侵入

停学または退学中においても、家宅侵入を含む、許可なしに校内の施設に入ること。または、学校管理者が退去を要求した後も、学校の敷地内に留まること。

## 武器(類似品および弾薬を含む)

武器とは、実例として、制限なく、以下の1つとなります。

ピストル：連邦法の 18 U.S.C. 921 で定義されているピストル。例には、ハンドガン、ライフル銃、ショットガン、爆弾が含まれます。完全な定義は連邦法を参照してください。

その他の銃：銃と類似するピストル以外のあらゆる物体を含む、あらゆる種類の、弾丸入りまたは弾丸無しの、操作可能または操作不可能な銃。これには、ペレット銃、ペイントボール銃、スタンガン、レーザー銃、BB 銃、フレア銃、ネイルガン、エアソフトガンが含まれますが、これに限定されません。

その他の武器：ピストルまたはその他の銃以外で、身体への危害および/または怪我の原因となる、または原因となることを意図する脅威の方法で使用されるあらゆる器具またはアイテム。これには、スイッチブレード、ナイフ、ハンティングナイフ、スターナイフ、カミソリ(ストレートまたは開閉式カミソリを含む)、プラスナックル、ボックスカッター、ヌンチャク、スパイクグローブ、スパイクリストバンド、あらゆるメイス関連物、催涙ガス機器またはペッパースプレー製品が含まれますが、これに限定されません。

ミズーリ州法の武器の定義は、以下のリンクよりご覧いただけます。

<http://www.moga.mo.gov/statutes/C500-599/5710000010.HTM>